

環境保全工学

注：アルファベット順に解答しなくともよい。また、1行に複数問の解答はしないこと。さらに各解答の間は1行スペースを空けること。裏面使用可。

1. 水環境保全に関連する以下の問いに答えよ。
 - (A) 水質環境基準は大きく分類するとふたつの項目(環境基準)から構成されている。それぞれの項目を記せ。
 - (B) 上乘せ排水基準を簡単に説明せよ。
 - (C) 毒性のない生物分解可能な有機物による水質汚濁とは、結果としてどのような現象が起きることを想定しているのか述べてよ。

2. 環境政策に関する以下の問いに答えよ。
 - (D) 直接規制の長所を説明せよ。また直接規制の実効性を高めるための留意点を述べよ。
 - (E) 環境税(もしくは課徴金)の直接規制に対する利点として、費用最小化効果があるが、それ以外に期待できる効果としてどのようなことが考えられるか。

3. 廃棄物の政策に関する以下の問いに答えよ。
 - (F) 家庭ごみの有料化とは住民がごみ処理費用の一部を、何に応じて手数料として負担することかを記せ。
 - (G) 産業廃棄物の不法投棄対策であるマニフェスト制について、簡単に説明せよ。
 - (H) 拡大生産者責任とはどのような考え方を簡潔に述べよ。

4. リサイクル政策に関する以下の問いに答えよ。
 - (I) リサイクル貧乏は、リサイクルに必要な施設の建設のほか、特にどの工程の経費がかかることが原因と考えられるか。
 - (J) リサイクル貧乏に、特につながりやすいごみとはどのようなごみかを説明せよ。
 - (K) リサイクル貧乏の解決策として、ごみそのものを減らすこと以外にどのような解決策があるか、最も重要と思われることをひとつ記せ。